

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第50期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社エイチアンドエフ
【英訳名】	Hitachi Zosen Fukui Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宗田 世一
【本店の所在の場所】	福井県あわら市自由ヶ丘一丁目8番28号
【電話番号】	0776（73）1263
【事務連絡者氏名】	経理部長 山田 幸一
【最寄りの連絡場所】	福井県あわら市自由ヶ丘一丁目8番28号
【電話番号】	0776（73）1263
【事務連絡者氏名】	経理部長 山田 幸一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第１【企業の概況】

１【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第２四半期連結 累計期間	第50期 第２四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成24年 ４月１日 至平成24年 ９月30日	自平成25年 ４月１日 至平成25年 ９月30日	自平成24年 ４月１日 至平成25年 ３月31日
売上高（千円）	12,097,700	12,149,013	23,779,354
経常利益（千円）	1,841,830	1,322,943	2,671,011
四半期（当期）純利益（千円）	853,595	887,915	1,601,272
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	911,432	1,062,482	1,724,023
純資産額（千円）	8,024,680	9,604,177	8,837,271
総資産額（千円）	18,248,950	21,885,332	21,708,160
１株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	86.66	90.15	162.57
潜在株式調整後１株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	-	-	-
自己資本比率（％）	44.0	43.9	40.7
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	1,254,788	666,540	2,930,335
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	853,987	240,911	680,971
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	698,892	296,236	699,805
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	6,401,666	5,852,617	6,574,833

回次	第49期 第２四半期連結 会計期間	第50期 第２四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 ７月１日 至平成24年 ９月30日	自平成25年 ７月１日 至平成25年 ９月30日
１株当たり四半期純利益金額又は １株当たり四半期純損失金額 （ ）（円）	24.26	53.21

- （注）１．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- ２．売上高には、消費税等は含んでおりません。
- ３．潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２【事業の内容】

当第２四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）におけるわが国経済は、各種政策の効果が発現するなかで、景気は緩やかに回復しつつあるものの、海外景気の下振れが、引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの主要顧客である自動車業界におきましては、引き続き新興国を中心とした海外市場が好調を維持しており、設備投資も堅調に推移しております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の受注高につきましては、自動車業界各社の設備投資が堅調に推移していることを受け、プレス機械は11,274百万円（前年同四半期比21.1%増）と前年同四半期を上回りましたが、F Aシステム製品はブランキングプレスラインの受注が少なかったため、2,938百万円（前年同四半期比34.5%減）と前年同四半期を大きく下回りました。アフターサービス工事も3,200百万円（前年同四半期比29.5%減）と前年同四半期を下回りました。全体では17,413百万円（前年同四半期比5.0%減）と前年同四半期並みとなりました。受注残高は前連結会計年度末に比べ5,264百万円増加し26,790百万円となりました。

売上高につきましては、プレス機械は6,576百万円（前年同四半期比44.8%増）と前年同四半期を大きく上回ったものの、F Aシステム製品は2,998百万円（前年同四半期比3.3%増）と前年同四半期並みに止まりました。アフターサービス工事は、前年同四半期にタイの洪水の復旧工事があったため、2,574百万円（前年同四半期比44.7%減）と前年同四半期を大きく下回りました。全体では12,149百万円（前年同四半期比0.4%増）と前年同四半期並みとなりました。

損益面につきましては、アフターサービス工事の売上減により、営業利益1,348百万円（前年同四半期比28.4%減）、経常利益1,322百万円（前年同四半期比28.2%減）とそれぞれ前年同四半期を下回りました。四半期純利益は、前年同四半期に厚生年金基金からの脱退に伴う特別損失を計上していたため、887百万円（前年同四半期比4.0%増）と前年同四半期並みとなりました。

（2）財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し、18,199百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金は増加したものの、現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ180百万円増加し、3,685百万円となりました。これは、主に有形固定資産及び投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ589百万円減少し、12,281百万円となりました。これは、主に前受金は増加したものの、未払金及び未払費用が減少したことによるものであります。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ766百万円増加し、9,604百万円となりました。これは、主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益の計上や定期預金の払戻による収入等の要因はあったものの、売上債権の増加、未払費用の減少、定期預金の預入による支出及び有形固定資産の取得による支出等により、前連結会計年度末に比べ722百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には5,852百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、666百万円（前年同期は1,254百万円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益の計上や前受金の増加等の要因はあったものの、売上債権の増加、未払費用の減少及び法人税等の支払額等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は、240百万円（前年同四半期比71.8%減）となりました。これは、主に定期預金の預入による支出及び有形固定資産の取得による支出はあったものの、定期預金の払戻による収入があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、296百万円（前年同四半期比57.6%減）となりました。これは、主に配当金の支払額があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、157百万円であります。

また、当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	35,400,000
計	35,400,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,850,000	9,850,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株
計	9,850,000	9,850,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	9,850,000	-	1,055,000	-	747,400

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
日立造船株式会社	大阪市住之江区南港北1丁目7-89	5,282	53.63
エイチアンドエフ従業員持株会	福井県あわら市自由ヶ丘1丁目8-28	304	3.09
ゴールドマン・サックス・アン ド・カンパニーレギュラーアカウ ント (常任代理人 ゴールドマン・ サックス証券株式会社)	200 WEST STREET NEW YORK, NY, USA (東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森 タワー)	284	2.89
株式会社サクラ	大阪市西淀川区御幣島6丁目7-5	240	2.44
エイチアンドエフ取引先持株会	福井県あわら市自由ヶ丘1丁目8-28	237	2.41
サカイオーベックス株式会社	福井市花堂中2丁目15-1	160	1.62
垣添 生子	東京都杉並区	112	1.14
シービーエイチケイエスエフボ ンセキュリティーズコーリミテッ ドアカウントグローバル (常任代理人 シティバンク銀行 株式会社)	4/F., NO. 108, SEC1, TUN HWA S. RD., TAIPEI 105, TAIWAN. (東京都品川区東品川2丁目3-14)	103	1.05
白崎 史剛	相模原市南区	100	1.02
山形 晴美	福井市	100	1.02
計	-	6,923	70.29

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年 9 月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式 (自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式 (その他)	-	-	-
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 200	-	-
完全議決権株式 (その他)	普通株式 9,849,000	98,490	単元株式数は100株
単元未満株式	普通株式 800	-	-
発行済株式総数	9,850,000	-	-
総株主の議決権	-	98,490	-

【自己株式等】

平成25年 9 月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社エイチアンドエフ	福井県あわら市 自由ヶ丘 1 丁目 8 - 28	200	-	200	0.00
計	-	200	-	200	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,759,508	7,301,487
受取手形及び売掛金	7,686,960	9,303,378
商品及び製品	43,959	49,207
仕掛品	549,552	596,121
原材料及び貯蔵品	148,243	207,875
繰延税金資産	260,058	302,414
その他	757,264	442,125
貸倒引当金	2,658	2,770
流動資産合計	18,202,890	18,199,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,026,493	1,026,975
機械装置及び運搬具（純額）	673,069	644,963
土地	838,364	838,364
その他（純額）	93,817	207,957
有形固定資産合計	2,631,743	2,718,260
無形固定資産		
のれん	40,424	21,767
その他	99,123	146,510
無形固定資産合計	139,547	168,277
投資その他の資産		
投資有価証券	629,077	685,059
その他	105,180	114,173
貸倒引当金	280	280
投資その他の資産合計	733,978	798,953
固定資産合計	3,505,270	3,685,492
資産合計	21,708,160	21,885,332

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,332,196	1,231,482
短期借入金	100,000	100,000
未払金	5,577,250	4,954,034
未払費用	1,499,601	1,067,558
未払法人税等	449,275	505,380
前受金	1,395,692	2,021,829
賞与引当金	334,000	332,000
製品保証引当金	434,860	391,748
受注損失引当金	416,684	453,953
その他	159,600	23,544
流動負債合計	11,699,161	11,081,530
固定負債		
退職給付引当金	1,085,512	1,091,806
役員退職慰労引当金	35,840	40,544
その他	50,375	67,273
固定負債合計	1,171,727	1,199,624
負債合計	12,870,889	12,281,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,055,000	1,055,000
資本剰余金	747,400	747,400
利益剰余金	7,096,043	7,688,463
自己株式	83	163
株主資本合計	8,898,360	9,490,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,040	98,502
繰延ヘッジ損益	79,150	5,084
為替換算調整勘定	46,479	9,389
その他の包括利益累計額合計	61,589	112,977
新株予約権	500	500
純資産合計	8,837,271	9,604,177
負債純資産合計	21,708,160	21,885,332

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	12,097,700	12,149,013
売上原価	9,249,828	9,737,153
売上総利益	2,847,871	2,411,859
販売費及び一般管理費	964,798	1,063,825
営業利益	1,883,073	1,348,034
営業外収益		
受取利息	7,048	15,833
受取配当金	5,685	4,944
保険差益	383	38,780
その他	1,468	7,541
営業外収益合計	14,586	67,100
営業外費用		
支払利息	1,452	352
為替差損	47,442	83,839
その他	6,933	7,998
営業外費用合計	55,828	92,190
経常利益	1,841,830	1,322,943
特別損失		
厚生年金基金脱退拠出金	841,104	-
特別損失合計	841,104	-
税金等調整前四半期純利益	1,000,726	1,322,943
法人税等	147,130	435,027
少数株主損益調整前四半期純利益	853,595	887,915
四半期純利益	853,595	887,915

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	853,595	887,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,215	34,461
繰延ヘッジ損益	100,708	84,235
為替換算調整勘定	13,656	55,869
その他の包括利益合計	57,837	174,566
四半期包括利益	911,432	1,062,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	911,432	1,062,482
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,000,726	1,322,943
減価償却費	148,255	173,848
のれん償却額	18,657	18,657
賞与引当金の増減額 (は減少)	4,000	2,000
製品保証引当金の増減額 (は減少)	23,354	43,112
受注損失引当金の増減額 (は減少)	36,995	37,269
退職給付引当金の増減額 (は減少)	35,968	6,294
役員退職慰労引当金の増減額 (は減少)	4,611	4,704
貸倒引当金の増減額 (は減少)	200	120
受取利息及び受取配当金	12,734	20,777
支払利息	1,452	352
固定資産除却損	291	3,999
売上債権の増減額 (は増加)	698,894	1,578,876
たな卸資産の増減額 (は増加)	796,544	93,043
その他の流動資産の増減額 (は増加)	70,851	306,003
仕入債務の増減額 (は減少)	131,223	102,423
未払費用の増減額 (は減少)	53,005	436,226
未払金の増減額 (は減少)	707,054	407,449
前受金の増減額 (は減少)	450,741	600,136
その他の流動負債の増減額 (は減少)	12,527	43,685
その他	15,508	6,452
小計	1,307,903	259,716
利息及び配当金の受取額	10,717	24,609
利息の支払額	1,440	352
法人税等の支払額	62,391	431,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,254,788	666,540
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,029,484	1,446,192
定期預金の払戻による収入	1,928,131	2,221,995
投資有価証券の取得による支出	3,595	3,926
投資有価証券の売却による収入	-	207
有形固定資産の取得による支出	22,721	471,966
無形固定資産の取得による支出	9,871	53,241
その他	8,472	5,965
投資活動によるキャッシュ・フロー	853,987	240,911

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（ は減少）	550,000	-
自己株式の取得による支出	32	80
配当金の支払額	147,981	294,973
その他	878	1,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	698,892	296,236
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,659	350
現金及び現金同等物の増減額（ は減少）	1,415,542	722,216
現金及び現金同等物の期首残高	4,822,306	6,574,833
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	163,817	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,401,666	5,852,617

【注記事項】

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（四半期連結貸借対照表関係）

該当事項はありません。

（四半期連結損益計算書関係）

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
給料	258,340千円	275,710千円
賞与引当金繰入額	58,250	74,890
退職給付費用	32,142	22,305
研究開発費	140,114	157,032

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	7,450,713千円	7,301,487千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	1,049,046	1,448,870
現金及び現金同等物	6,401,666	5,852,617

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	147,748	15	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	295,495	30	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間
(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当社グループ(当社及び連結子会社)は、プレス機械及びその周辺設備の製造・販売・アフターサービス工
事を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	86円66銭	90円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	853,595	887,915
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	853,595	887,915
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,849	9,849
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要	-	-

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記
載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月 8 日

株式会社エイチアンドエフ

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 新田 東平 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 小幡 琢哉 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エイチアンドエフの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エイチアンドエフ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- （注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2．四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。